

現代青年の生活意識における自己疎外の構造 (Ⅱ)

— 「自己を疎外する行為」に影響を及ぼす社会的要因からの検討 —

The Structure of Self-Alienation in Life-Consciousness of Contemporary Adolescents (Ⅱ) : with Special Reference to Social Factor Effects on "Self-Alienation Act"

神永 典郎*・安香 宏**

Norio KAMINAGA* and Hiroshi AKOH**

はじめに

前論文¹⁾では、現代社会における青年の日常生活世界における認識の特徴を「自己を疎外する行為」という視点から検討し、「自己を疎外する行為」に関する質問紙調査の検討と、調査結果の因子分析的検討を行った。その結果、現代青年に特徴的な自己疎外の構造を捉える視点として9つの因子を見出し、因子の検討から、「自分らしさ」を模索しようと取り組みながら、自ら思考し創造しようとするのではなく、「マス情報の話題・流行への敏感な対応」を主とし、「占いの生き方規定情報」などを受け入れて行為している現代青年の姿が描き出されてきた。

一方、これまでの「疎外 (alienation)」の心理学的研究では、その多くが「疎外感 (alienation feeling)」の研究として行われてきた²⁾。その場合、K. Marxが人間と人間のつくり出す生産物との関係が結びつかなくなってきた客観的な疎外の状況を問題としてきた³⁾のに対して、むしろ心理学では、個人によって受けとめられる認知された世界の問題として疎外を扱い、客観的・物理的に存在する現代人の人間疎外の状況を直接的に取り扱ってこなかった。

現代社会が、E. Frommのいう「構えと献身の体制 (frames of orientation and devotion)」において非生産的構えの社会的性格を持ち⁴⁾、D. Riesmanが指摘する「他者指向 (other-directed)」社会⁵⁾であるとするなら、そこでは内在化された権威ではなく、同世代人や身近な友人、家族、マス・メディア、世論といった匿名の権威によって個人が動かされていることになる。そうした見えざる手の中で生きる人間の在り様を捉えようとするとき、個人の認知した主観的な疎外感情を扱っているだけでは、実態を的確に把握することにはならないと考えた。

上田吉一は、「自己疎外」を定義して、「自己疎外とは、外部の権威や人気、あるいはこれと呼応した人格の義務意識や欲望が自我にとって代わって、自らの認知の主体になる状態をいう」⁶⁾としている。

本研究では、個人の認知レベルの自己疎外感を捉えるのではなく、より積極的に、個の行為性のレベルで捉えられる種々の事象の中に、結果としてどのような疎外された事象が位置づけられてくるのかを問題とする。そこで、自己疎外を行為性のレベルで捉えた「自己を疎外する行為」を、「個人が自らの欲求に従って主体的に行動した行為でありながら、人間存在におい

*茨城大学教育学部附属小学校

**千葉大学教育学部教育心理学教室

てその本質に照らして考えてみると、人間的水準において、本来個人が主体的・創造的に行為するものとは異なってしまい、結果として自己の主体性の存在を否定してしまっている行為」と定義する。

また、現代青年の「自己を疎外する行為」の特徴として、青年が自分らしさを実現しようとして取り入れている生活領域の体制や仕組みが、逆に彼らを拘束し、新しい価値の実現が妨害されているばかりでなく、彼らの主体性が発揮できずに自己を疎外する状態となっている姿を捉えようとする。「自己を疎外する行為」に代表される現代青年の人間のゆがみは、個人の内面の人間として生きようとする力が、外側からの様々な社会的圧力や個人の内側にある様々な要因によって妨害されている状態である。そこで本研究では、上述の定義に基づいて作成・検討された「自己を疎外する行為」の質問紙による調査結果を、将来、社会に進出して現代社会を支える可能性を持ち、その期待も受けている「現代青年」の自己疎外状況の背景に働く社会的要因の影響の側面から分析することを課題とする。

I 大学生を対象とした「自己を疎外する行為」に関する質問紙調査

I-1 調査票の作成と調査の実施

I-1-1 調査視点の構造化と質問項目の作成

本調査の質問項目を作成するにあたり、現代青年の生活領域を全般的に捉えるために、表1に示すような調査視点の構造化を行い、質問項目を作成した。

まず表1の縦軸として、人間の存在を「個体の生きる世界」という視点から考え、A「自然とのかかわり」、B「人間社会でのかかわり」、C「自分自身とのかかわり」の3つに分節化した世界として捉えた。さらにそれぞれの世界に、A-1「生命」、A-2「生活空間」、A-3「超自然」、B-1「仕事・技術」、B-2「物質・商品」、B-3「人間関係」、B-3「社会規範」、C-1「身体・美容」、C-2「思想・芸術」、C-3「生き方・生きがい」の10の下位視点を設定した。一方表1の横軸として、「個体への影響源」という視点から考え、a「家庭・家族」、b「学校・仲間」、c「マス・メディア」の3つの視点を設定した。

以上の縦軸と横軸を交絡させ、日常生活において生起する多様な諸行為を範疇化し、表1の各セルの中に入る具体的な質問項目を作成した。項目作成の基準は次の通りである。①行為性のレベルで作成する。②構造化の縦横を交絡させた内容の項目をつくる。③現代青年の日常生活を捉えるのにふさわしく、かつ、具体的内容を持った項目になるように作成する。

作成された質問項目は、千葉大学大学院教育学研究科で青年心理学・人格心理学を専攻する大学院生・研究生・教官の6名で検討し、その結果、表1では各セルの中に示されるような、現代青年の日常生活の中で「自己を疎外する行為」としてふさわしい内容とされた40項目が残された。

表1 質問票の調査視点の構造化と質問項目

A	B	C	個体の生きている世界		a	b	c	マ	ス	メ	デ	イ	ア
			個体の生きている世界	個体への影響源									
1	1	9	命	23	23	2	9	ニューズなどで、かなりの地域に多くの人が知っている人たちがいることは知っているが、テレビスでもできないので、自分自身を振り返ってみることはない。			38	これからの科学には、バイオテクノロジーなど生命科学の最新知識が必ず必要なので、テレビの科学番組や雑誌を読んだりする。	
2	2	3	生活空間	29	21	3	3	自分の部屋は、個性的にしたいので、部屋のデザインやインテリアについて書いてある本や雑誌を読む。			5	テレビや雑誌などで、海外旅行が話題になってきているので、人気のある場所を選んで計画を立ててみる。	
3	3	16	超自然	25	30	16	16	自分の運命や将来が気になるので、雑誌や本に載っている占いや運勢欄は、関心を持ってみる。			33	運命には逆らえないという小説やドラマをみると、人生は自分の努力だけでどうすることもできないので、今を楽しんで生きる。	
1	1	35	仕事・技術	26	8	35	35	これからの生活を豊かにしていくためには、機械や科学技術の理解が必須なので、テレビや雑誌などで最新の知識を身につける。			22	これからの国際社会で活躍していくためには、語学力が必要なので、テレビ・雑誌・テープなどで語学を学ぶ。	
2	2	27	物質・商品	31	13	27	27	衣服や持ち物などを買うときには、よい品物を買いたいので、テレビや雑誌で紹介された新しい商品やブランド品を買う。			32	テレビや雑誌で、シャブナーなど日常よく使うものの新製品が宣伝されると、自分にあうものかどうかが一度買ってためてみる。	
3	3	20	人間関係	40	40	20	20	異性との交際では、相手の気持ちより大切にしたいので、男女の付き合い方について書いてある本や雑誌を読む。			34	最近、離婚の原因として性格の不一致が話題となっているので、雑誌や本の性格テストはやってみる。	
4	4	28	社会規範	17	17	28	28	教師やサークルでの仲間との関係をよくやくやくしていくには、年長者への接し方が重要なので、あいさつや礼儀には気を配る。			7	テレビや雑誌などで、結婚は社会的にもつり合いのとれた相手とすると良いと言われているので、レベルの同じ相手とつき合うようになっている。	
1	1	15	身体・容姿	39	4	15	15	人と会うときは、自分の印象を悪くしたくないので、髪型や服装について書いてある本や雑誌を見る。			18	体のスタイルや体重は、自分自身でコントロールしなければならぬので、雑誌やテレビで紹介される栄養のとり方や美容体操などをやってみる。	
2	2	14	思想・芸術	6	11	14	14	映画やイベントは、話題性が重要なので、早いうちに見に行く。			37	国の政治や国際関係についての報道に接しても、日常の生活にかかわりが薄いので、自分の意見を人に言うことはしない。	
3	3	36	生き方・生きがい	10	19	36	36	自分のすることは、なるべくうまくやりたいので、生き方や成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。			12	結婚式は、人並みにしたいので、式場や新婚旅行について書いてある雑誌の記事などには目を通す。	

注) 各セル内の数字は質問票の項目番号に対応している。

II-1-2 調査票の作成と調査の実施

質問項目は「大学生の日常意識に関する調査票」と題して作成された。調査票は、Appendix I に示すように『大学生の図形認知と日常意識に関する調査』と題するもので、調査票の構成は、本報告では触れていないパーソナリティ検討概念としての Field Dependence 次元を測定する集団式 E F T 検査用紙「図形認知の方略に関する調査票」および [II] 「大学生の日常意識に関する調査票」からなる。後者は、「自己を疎外する行為」に関する質問紙と、「自我同一性地位判定尺度」、それに「調査協力へのお願い」と「集計分析のための項目」の部分からなっている。

調査は、講義時間をさいていただき、この調査のために用意した「調査実施の手引き」に従って実施した。手順は、まず、[I] の検査に引き続いて、[II] を約12～15分間で行った。[I]・[II] の両調査全体の所要時間は約30分である。回答に先立って、回答方法を統一するため、Instruction-tapeを用い、Appendix I-ii に示す説明文を読み聴かせた後、合図とともに各自のペースで回答させた。本報告の対象となっている「自己を疎外する行為」に関する質問紙への回答に際しては、①私たちが日常「している」ことや「考えている」ことについて、「あなた自身に照らし合わせてどうであるか」を思いかえして回答すること、②最もよくあてはまると思う目盛りの所を○で囲むことの2点を指示した。そして「よくあてはまる」から、その反対「ほとんどあてはまらない」までの6段階のいずれかを自己評定させた。

調査協力者として、表2に示すように、千葉、茨城、東京の国・私立3大学10学部の2年次生以上の男女793名の回答を得た。調査にあたっては、①自己のイメージを確立していると考えられる20歳を迎えた大学2年次生以上とを対象とし、②調査結果が特定の大学、学部、地域に偏ることを避けるため複数の大学・学部で行った。なお調査の実施は、1984年10月～11月である。

表2 調査協力者数(人)

調査校	男 性	女 性	計
千葉大学	194	241	435
茨城大学	72	148	220
東洋大学	66	72	138
計	332	461	793

I-2 因子分析から捉えた日常生活場面における「自己を疎外する行為」

前論文では、「自己を疎外する行為」として作成した質問項目の構造化が、理論的に妥当であるかを検討することを目的として、因子分析的検討を行った。⁷⁾ この結果9つの因子を抽出し、各因子毎に帰属する項目の検討を行い、因子の命名を行っている。

この際、因子分析は千葉大学情報処理センター「HITAC M-180/VOS 3」で、主にSPSSを使用して行った。分析に際し、相関係数はピアソンの相関係数、因子抽出法は主因子法、因子軸の回転はバリマックス法、回転後の因子抽出のための基準値を固有値1.0000以上として行った。

各因子の解釈は、各因子に帰属させる項目の選択基準として、因子負荷量|0.3000|以上とした。この際、複数の因子に含まれる項目に関しては、それぞれの因子において他の項目との

関連をはかりながら解釈を行った。各因子名と解釈に用いた項目を表3に示す。2つ以上の因子に重複して因子解釈に用いられた項目については、項目番号に（ ）を付して示した。

これらの因子の検討から描き出された自己疎外の構造は、現代青年が「自分らしさの模索」のうちに本来の自己の姿を見失った状態にあり、その行為性は自ら思考し創造しようとするのではなく、「マス情報の話題・流行への敏感な対応」を主とし、「生き方規定的情報への関心」や親・家族からの暗黙裡の圧力や同世代の仲間の中での圧力の感受などに特徴があることが示された。

表3 現代青年の日常生活意識における「自己を疎外する行為」に関する調査の全データの因子分析による因子名及び説明率と各因子に含まれる項目番号

因子	因子名	説明率	項目番号
Factor 1	『「マス情報の話題・流行への敏感な対応」と「自分らしさの模索」による行為性』の因子	23.3%	15. 3. 27. 28. 13. 14. 5. 32. 18. 12. 20. 21. (34).
Factor 2	『「人間関係的行為性への親・家族の圧力の受容」による行為性』の因子	6.4%	24. 17. 39. 25. 23. (29). (31).
Factor 3	『「生き方規定的情報への関心」による行為性』の因子	5.6%	30. 16. 34. 36. (20).
Factor 4	『「社会・政治的事象への自己抑制」による行為性』の因子	4.4%	11. 2. 37. 9. 40. 1. (10). 19.
Factor 5	『「自己決定を必要とする問題に関する期待の感受」による行為性』の因子	4.0%	26. 29. 10. 7. 31. (21). (12).
Factor 6	『「先見・先端的知識に対する積極的指向」による行為性』の因子	3.2%	35. 38. 22.
Factor 7	『「将来期待からの資格・技術指向」による行為性』の因子	3.1%	6. 8.
Factor 8	『「生命・身体に関するマス情報の受容」による行為性』の因子	2.8%	(9). (18).
Factor 9	『「親の社会一般的価値づけへの同一化」による行為性』の因子	2.7%	(31). (39).

- * 神永・安香(1985)から作成。各項目については表1を参照。
- ** 各因子は、因子負荷量が|0.30000|以上の項目について解釈を行った。
- *** 項目番号の（ ）は、2つ以上の因子に重複する項目。

Ⅱ 日常生活場面に表出する自己疎外の諸要因

Ⅱ-1 「自己を疎外する行為」の社会的要因の検討視点

因子分析の結果示された「自己を疎外する行為」の構造について、これらの行為性に影響を及ぼす社会的要因を検討するために、調査のフェイスシート項目（集計分析項目）に関して、全項目に対する反応傾向の判別分析を行った。用いた判別項目は、性別、年齢、親と同居か別居か、祖父母との同居経験の有無、自宅のテレビの有無、自分専有の車の有無、父・母の学歴で

ある。各項目の設定理由は以下のとおりである。

①性別：本研究では、日常生活場面で「自己を疎外する行為」がどのような規定因から行為されているのかを探ろうとする。同じ行為であっても、男性と女性とではその行為に対する社会的な圧力が違い、その受けとめ方にも違いが生じてくることが考えられる。特に「男らしさ」・「女らしさ」というような「らしさ」は、現代社会の中で画一化された位置づけを持ち、本来の「おとこ」性・「おんな」性と遊離した社会的圧力として、自己に対する疎外要因となっていると考えられる。そこでこの判別の結果に基づいて、どのような行為性において各々の性に影響を及ぼす社会的圧力が相違するのかを検討するために、性別を取り上げた。

②年齢：年齢により、その時代の受けとめ方が異なることは十分に考えられる。本調査は大学生を対象としている点で同世代の「現代青年」と考えて検討を進めているが、学校制度の上で高等学校までと大学とでは、管理が厳しく行動上の規制も厳しい高等学校の生活に時間的に近い者と、ほとんど生活上の制約を受けない大学の生活を何年か過ごしてきた者とは、その生活意識に違いがあるかも知れない。したがって年齢を取り上げた。

③親と同居か別居か：親と同居して生活を送っている者と両親から離れて生活を送っている者とは、家族と直接に接触を持っている同居者の方が、様々な面で家族から規制を受けていると考えられる。一方親と別居の者は、自宅ではしないで済ませていたものまでしなければならぬ反面、家族の規制を気にせず行動することを経験できるため、同じ年齢にあってもその生活意識に違いがあるかも知れない。

④祖父母との同居経験の有無：祖父母との同居経験の有無は、同居経験のある者の方が、親からよりもまして伝統的な「家」や「家族」に特有な価値・思想体系にふれる機会を増やすことになる。また、「老い」に対するイメージの形成を具体的な人物を通して行い、時間的展望の形成にも影響を与えていくかも知れない。

⑤自宅のテレビの有無：現状ではほとんどの家庭にテレビが設置され、そこからもたらされる情報の量は多大である。ところが意識的にテレビを設置していなかったり、下宿には置いていないこともある。このような場合、日常的にテレビのもたらず情報に接し受け入れている者との間には、その意識と情報接触量において差異があり、そのことは生活意識の形成において差異を生み出しているかもしれない。

⑥自分専有の車の有無：「車社会」という言葉で言い表されることもある現代社会は、青年期世代の者にも車に対する高い関心を集めている。自分自身で車を所有している者もあり、この点において、持つ者と持たない者という仲間内での一定の関係を生じさせ、こうした立場の違いが、生活意識においても影響を与えることになっているかもしれない。

⑦両親の学歴：現代社会は、明治以来の学歴社会を継承してきており、両親の学歴の違いは、一見自由で平等に見える教育の機会や職業に様々な差異を与えている。それだけでなく、経済的にも社会的地位といったことまでも規定していることが少なくない。そのため家庭環境や本人への学歴・職業等の家庭からの期待による生活意識への影響があるかもしれない。

判別分析はそれぞれの判別項目について一回、ただし親の学歴については父・母のそれぞれ一回で、計で8回行った。各々の判別グループに関して算出した判別成功率を整理したものが表4である。

表4 集計分析項目による回答傾向の判別成功率
(%)

判別項目	分類 (数)	判別成功率
性	男・女 (2)	83.35
自分専用の車	あり・なし (2)	64.56
自宅のテレビ	あり・なし (2)	64.52
親との同居	同居・別居 (2)	60.15
祖父母との同居経験	あり・なし (2)	58.71
親の学歴 (母)	(6)*	33.98
年齢	19~24歳 (6)	33.67
親の学歴 (父)	(6)*	32.17

* Appendix I - i の集計分析項目参照。

II-2 判別分析から捉えた日常生活場面における「自己を疎外する行為」の特徴

表4に示される判別分析の結果から、「性」による判別成功率が高く明確な差異が見いだされ、性に関する自己規制要因を検討することは妥当であることが示された。その他の判別項目では、「自分専用の車」、「自宅のテレビ」、「親との同居」、「祖父母との同居」の順に判別に成功しているが、これらについては明確な差異を見いだすには至っていない。

本研究では、現代青年が日常生活世界において「自分らしく」ありたいと願いながら、自らの諸行為のうちに規制を働かせている、その要因を探ることを目的としている。その観点から、本調査項目の反応傾向は、「性」によって弁別でき、個の行為性に加わる社会的圧力としての規制要因として「性」による違いがあることが示された。このことは、現代青年が「自分らしさの模索」の中に、「性」にかかわる「らしさ」を求めることがたぶんに含まれ、自己を確立しようとするとき、この「性への同一性」という課題が一つの大きな課題として存在することを示している。「性」に対する社会の価値観が、「自分らしく」生きれば良いとするタテマエ的な部分と、「らしさ」としてこうあるべきだという画一化の方向にある部分とが、はっきりした形では示されないで、様々な出来事の中で混然として存在し、ぶつかりあったところにあるといえるのではなからうか。

「性」によって各項目への反応傾向に差異があることが見いだされたので、調査に用いた40項目について判別分析に用いた全項目への反応傾向性別によるF値を検討したところ、表5に示すように、危険率5%以下で有意な差の認められた項目が31項目であった。さらに各項目の平均値から、28項目が女性で(F項目)、3項目が男性(M項目)で、よりあてはまるという方向で得点が高かった。

表5 各質問項目のF値と性別に関する判別係数および性別
項目平均と項目判別

項目No.	F		判別係数	項目得点の平均		項目判別
				男性	女性	
Q 1	13.00	***	0.09916	2.9488	3.2820	F
Q 2	5.747	*	0.24194	3.5512	3.3232	M
Q 3	60.86	***	-0.24371	2.3253	3.1302	F
Q 4	4.485	*	0.27397	3.7500	3.9371	F
Q 5	8.543	***	0.04862	2.2289	2.4967	F
Q 6	37.06	***	-0.07753	2.7771	3.3492	F
Q 7	27.43	***	-0.09937	2.1988	2.6616	F
Q 8	23.17	***	-0.09880	3.5000	3.9544	F
Q 9	1.790		0.12716	3.5693	3.4490	
Q10	20.54	***	-0.10992	2.8012	3.2234	F
Q11	9.615	**	0.02765	2.6024	2.8590	F
Q12	45.65	***	-0.08197	1.8434	2.4295	F
Q13	18.67	***	-0.06812	3.3464	3.7505	F
Q14	3.152		0.16437	2.4367	2.5965	
Q15	102.0	***	-0.32268	2.4488	3.4534	F
Q16	114.1	***	-0.15827	3.1054	4.2104	F
Q17	11.99	***	-0.01309	4.3584	4.6312	F
Q18	170.2	***	-0.44025	1.8524	2.9978	F
Q19	0.2308 D-01		0.01839	3.8072	3.8200	
Q20	14.10	***	0.28645	2.5452	2.8872	F
Q21	10.53	**	0.02643	2.9006	3.2126	F
Q22	1.431		0.04329	2.7349	2.8590	
Q23	0.2765		0.16847	3.9458	3.9002	
Q24	14.72	***	-0.03698	3.9608	4.2842	F
Q25	16.30	***	0.07325	3.1928	3.6030	F
Q26	1.157		-0.02554	1.8163	1.9024	
Q27	2.803		0.44245	2.5904	2.4295	
Q28	75.71	***	-0.12615	2.6295	3.4121	F
Q29	0.7683 D-01		0.11400	3.2169	3.1866	
Q30	85.42	***	-0.19457	3.2651	4.2213	F
Q31	32.78	***	0.04491	2.5843	3.1388	F
Q32	49.15	***	-0.11162	2.3524	3.0521	F
Q33	6.396	**	0.06269	2.8886	3.1258	F
Q34	119.1	***	-0.33381	2.4337	3.4924	F
Q35	10.24	**	0.24581	3.2440	2.9479	M
Q36	3.231		0.13666	2.7108	2.8764	
Q37	41.35	***	-0.20202	3.0030	3.6247	F
Q38	10.99	***	0.07102	3.2410	2.9154	M
Q39	50.99	***	-0.29192	3.3735	4.0586	F
Q40	19.12	***	-0.13268	3.1024	3.5163	F

注) ***は危険率0.1%水準, **は1%水準, *は5%水準。

項目判別のFは女性項目, Mは男性項目。

Ⅲ 性別に捉えた「自己を疎外する行為」の検討

Ⅲ-1 性別に捉えた「自己を疎外する行為」の構造

判別分析の結果から、各々の性に特徴のある「自己を疎外する行為」の構造を検討し、性に特有の自己規制の圧力を及ぼしている自己疎外要因を探るために、女性データ461名、男性データ332名について、それぞれ因子分析を行った。分析の手続きは、前述のⅠ-2と同様である。その結果を表6、表7に示す。女性データでは9つの因子を抽出したが、8つの因子で解釈可能であり、男性因子では9つの因子を抽出し、9つの因子で解釈可能であった。そして各々の因子について因子の命名を行った。

女性・男性両方のデータについて抽出した因子の内容を検討してみると、第1因子については、両性ともに「自分らしさ」を模索する青年期の姿が現れているとみることができる。自分自身の個性を表現するために様々な生活領域についての情報を取り入れ、自分らしいと感じるものを取り込んでいこうとしている現代青年の姿が明確に示された。

第2因子以下でも、両性に共通する内容を持つ因子が見いだされるが、因子として抽出された順位及び因子内に含まれる項目内容に、それぞれの性に特徴的な傾向が示されていると考える。そこでその点について検討を加えていく。

女性データの分析では、第2因子・第3因子に『「人間関係的行為性への親・家族の圧力の受容」による行為性』の因子、『「自己決定を必要とする問題に対する期待の感受」による行為性』の因子が見いだされるが、男性データでは、それぞれ第5・第3因子に見いだされる結果となっている。逆に、女性データでは第4因子に見いだされる『「生き方規定的情報への関心」による行為性の因子』が、男性データでは第2因子に見いだされている。

さらに男性データでは、女性データで第8因子に見いだされる『「社会・政治的事象への自己抑制」による行為性』因子が第4因子に見いだされる結果となっている。

下位の因子では、両性ともに『「先見・先端的知識に対する積極的指向」による行為性』の因子、『将来期待からの資格・技術指向』による行為性』の因子が、女性データでは第5・第7因子に、男性データでは第6・第7因子に共通して見いだされている。一方、各性に特徴的な因子として、女性データでは第6因子に『「人間関係的行為性への身近な他者の圧力の受容」による行為性』の因子が、男性データでは第8・第9因子に『「家父長的役割期待」の受容による行為性』の因子、『「親の対社会的価値の受容性の受容」による行為性』の因子が見いだされている。

表6 現代青年の日常生活意識における「自己を疎外する行為」に関する調査の女性データの因子分析による因子名及び各因子に含まれる項目と因子負荷量

因子名	番号	項目	因子負荷量	視点	因子名	番号	項目	因子負荷量	視点	
Factor 1 「マス情報の話題・流行への敏感な対応」と「自分らしさの模倣」による行為性の因子	15	人と会うときは、自分の印象を悪くしたくないので、髪型や服装について書いてある本や雑誌を読む。	0.74431	マス・メディア 自分自身 身体・容姿	(39)	親に、人から見られても恥ずしくない身なりをするように言われているので、みっともない服装はしないようにしている。	0.34145	家庭・家族 自分自身 身体・容姿		
	27	衣服や持ち物などを買うときは、よい品物を買いたいので、テレビや雑誌で紹介された新製品やブランド品を選ぶようにしている。	0.59818	マス・メディア 人間社会 物質・商品		(21)	旅行の計画を立てるときは、友だちにすすめられたり、行ったことが話題になりそうな場所を選んで計画する。	0.31603	学校・仲間 自然 生活空間	
	3	自分の部屋は、個性的にしたいので、部屋のデザインやインテリアについて書いてある本や雑誌を読む。	0.58683	マス・メディア 自然 生活空間		(27)	衣服や持ち物などを買うときは、よい品物を買いたいので、テレビや雑誌で紹介された新製品やブランド品を選ぶようにしている。	0.31362	マス・メディア 人間社会 物質・商品	
	18	体のスタイルや体重は、自分自身でコントロールしなければならないので、雑誌やテレビで紹介される栄養のとり方や美容体験などをやってみる。	0.53528	マス・メディア 自分自身 身体・容姿		Factor 4 「『生き方規定的情報への関心』による行為性」の因子	30	友だちの間では、血液型や星座などの相性が話題になるので、自分に関係のあるところは調べてみる。	0.76945	学校・仲間 自然 超自然
	4	異性の友だちには、顔やスタイルの印象を良くしたいので、容姿や服装に気を配る。	0.52776	学校・仲間 自分自身 身体・容姿		16	自分の運命や将来が気になるので、雑誌や本に載っている占いや運勢欄は関心を持ってみる。	0.65016	マス・メディア 自然 超自然	
	5	テレビや雑誌などで、海外旅行が話題になっているので、人気のある場所を選んで計画を立ててみる。	0.52384	マス・メディア 自然 生活空間		34	最近、離婚の原因として性格の不一致が話題になるので、雑誌や本の性格テストをやってみる。	0.56289	マス・メディア 人間社会 人間関係	
	20	異性とのお付き合いは、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。	0.52325	マス・メディア 人間社会 人間関係		33	運命には逆らえないという小説やドラマをみると、人生は自分の努力だけではどうすることもできないように思えるので、今を楽しく生きる。	0.33553	マス・メディア 自然 超自然	
	28	人前では恥をかきたくないで、服装やテーブルマナーについて書いてある雑誌や本を読む。	0.50987	マス・メディア 人間社会 社会規範		(36)	自分のすることはなるべくうまくやりたいので、生き方や成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。	0.33891	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい	
	13	スポーツ用品や衣服などを買う時は、仲間のものであまり見劣りのしないものを買う。	0.50054	学校・仲間 人間社会 物質・商品		Factor 5 「『先見・先端的知識に対する積極的指向』による行為性」の因子	35	これからの生活を豊かにしていくためには、機械や科学技術についての理解が必要なので、テレビや雑誌などで最新の知識を身につける。	0.81196	マス・メディア 人間社会 仕事・技術
	14	映画やイベントは、話題性が重要なので、早いうちに見に行く。	0.47982	マス・メディア 自分自身 思想芸術		38	これからの科学には、バイオテクノロジーなどの生命科学の最新知識が必要なので、テレビの科学番組を見たり雑誌を読んだりする。	0.72104	マス・メディア 自然 生命	
	12	結婚式は人並みにしたいので、式場や新婚旅行について書いてある雑誌の記事などには目を通す。	0.44513	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい		(36)	自分のことはなるべくうまくやりたいので、生き方や成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。	0.31029	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい	
	21	旅行の計画を立てるときは、友だちにすすめられたり、行ったことが話題になりそうな場所を選んで計画する。	0.40473	学校・仲間 自然 生活空間		Factor 6 「『人間関係的行為性への身近な他者の圧力の受容』による行為性」の因子	11	政治的な意見や考えを言うことは、友だちとの関係を気まずくするので、話題にしないようにしている。	0.72181	学校・仲間 自分自身 思想・芸術
	36	自分のすることはなるべくうまくやりたいので生き方や成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。	0.38976	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい		2	仲間とのつき合いでは、難民の暮らしなどは共通の話題になりにくいので、話題にしないようにしている。	0.53868	学校・仲間 自然 生命	
	32	テレビや雑誌などで、シャンプーなど日常よく使うものの新製品が宣伝されると、自分に合うものかどうか一度買ってためしてみる。	0.35685	マス・メディア 人間社会 物質・商品		Factor 7 「『将来期待から」による行為性」の因子	6	親から、趣味や特技はあった方が良くいわれているので、将来役に立ちそうなことをなすべくやっておくことにしている。	0.71729	家庭・家族 自分自身 思想・芸術
(34)	最近、離婚の原因として性格の不一致が話題となるので、雑誌や本の性格テストをやってみる。	0.35265	マス・メディア 人間社会 人間関係	8	教師や仲間から、将来役に立つ技術や資格はあった方が良くいわれているので、免許や資格はなるべく多くとっておくようにしている。	0.56057	学校・仲間 人間社会 仕事・技術			
Factor 2 「『人間関係的行為性への親・家族の圧力の受容』による行為性」の因子	24	親から、人前での振る舞いは非常に大事だと言われているので、礼儀作法には気を配る。	0.75203	家庭・家族 人間社会 人間関係	Factor 8 「『社会・政治的対象への自己抑制』による行為性」の因子	9	ニュースなどで、かなりの地域に飢えている人がいることを知っているが、どうすることもできないので、自分自身を振り返ってみることはできない。	0.51388	マス・メディア 自然 生命	
	17	教師やサークルの仲間との関係をうまくやっていくには、年長者への接し方が重要なので、あいさつや礼儀には気を配る。	0.61734	学校・仲間 人間社会 社会規範	40	サークルや仲間との話し合いでは、まとまりを大切にしたいので、自分だけ違った意見を言うことはつしむ。	0.37813	学校・仲間 人間社会 人間関係		
	25	自分の家に悪いことがあるといけなないので、お墓参りや葬式では丁寧に祈る。	0.43956	家庭・家族 自然 超自然	37	国の政治や国際関係についての報道に接しても日常生活にかなりかわりが薄いので、自分の意見を人に言うことはない。	0.34367	マス・メディア 自分自身 思想・芸術		
	23	生命や財産は、自分自身で守っていかなければならないので、家族については特に自分たちで気を配る。	0.43639	家庭・家族 自然 生命	(39)	親に、人から見られても恥ずしくない身なりをするように言われているので、みっともない服装はしないようにしている。	0.31143	家庭・家族 自分自身 身体・容姿		
	39	親に、人から見られても恥ずしくない身なりをするように言われているので、みっともない服装はしないようにしている。	0.41828	家庭・家族 自分自身 身体・容姿	19	仲間と将来の人生設計について話すときは、個人の考え方を大切にしたいので、お互いに相手の考え方には干渉し合わないことにしている。	0.30764	学校・仲間 自分自身 生き方・生きがい		
	(28)	人前では恥をかきたくないで、服装やテーブルマナーについて書いてある雑誌や本を読む。	0.37331	マス・メディア 人間社会 社会規範	(10)	親から、安定した道をすすむように期待されているので、成功するかどうかかわからないようなことは選択しないようにしている。	0.30251	家庭・家族 自分自身 生き方・生きがい		
Factor 3 「『自己決定を必要とする問題に対する期待の感受』による行為性」の因子	29	将来どこに住むかは、親の住まいと全く関係なしには考えられないので、なるべく近くなるように決める。	0.55586	家庭・家族 自然 生活空間	Factor 9 「『映画やイベントは、話題性が重要なので、早いうちに見に行く。』	(14)	異性とのお付き合いは、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。	0.36569	マス・メディア 自分自身 思想芸術 マス・メディア 人間社会 人間関係	
	31	親から、みっともないものは買わないようにと言われているので、世間体の悪い商品は買わない。	0.47362	家庭・家族 人間社会 物質・商品	(20)	異性とのお付き合いは、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。	-0.35258	マス・メディア 人間社会 人間関係		
	10	親から、安定した道をすすむように期待されているので、成功するかどうかかわからないようなことは選択しないようにしている。	0.46149	家庭・家族 自分自身 生き方・生きがい						
	7	テレビや雑誌などで、結婚は社会的にもつり合いのとれた相手とすると良いといわれているので、レベルの同じ相手とつき合うようにしている。	0.46105	マス・メディア 人間社会 社会規範						
26	将来の職業は、親の職業と全く関係なしに決めると不利なので、ある程度関連のあるものにする。	0.44990	家庭・家族 人間社会 仕事・技術							

* 各因子は、因子負荷量が|0.30000|以上の項目について解釈を行った。

** 項目番号の()は、2つ以上の因子に重複する項目。

*** 視点は略語で記しているため表1を参照。

現代青年の生活意識における自己疎外の構造 (II)

表7 現代青年の日常生活意識における「自己を疎外する行為」に関する調査の男性データの因子分析による因子名及び各因子に含まれる項目と因子負荷量

因子名	番号	項目	因子負荷量	視点	因子名	番号	項目	因子負荷量	視点		
Factor 1 「マス情報の話題・流行への敏感な対応」と「自分らしさの模索」による行為性の因子	15	人と会うときは、自分の印象を悪くしたくないので、髪型や服装について書いてある本や雑誌を読む。	0.75180	マス・メディア 自分自身 身体・容姿	Factor 4 「社会・政治的事象への自己防衛」の因子	37	国の政治や国際関係についての報道に接しても日常生活にかかわり薄いため、自分の意見を人に言うことはない。	0.57514	マス・メディア 自分自身 思想・芸術		
	27	衣服や持ち物などを買うときは、よい品物を買いたいので、テレビや雑誌で紹介された新製品やブランド品を選ぶようにしている。	0.62697	マス・メディア 人間社会 物質・商品		2	仲間とのつき合いでは、難民の暮らしなどは共通の話題になりにくいので、話題にしないようにしている。	0.52410	学校・仲間 自然 生命		
	28	人前では恥をかきたくないで、服装やテーブルマナーについて書いてある雑誌や本を読む。	0.62404	マス・メディア 人間社会 社会規範		9	ニュースなどで、かなりの地域に飢えている人がいることを知っているが、どうすることもできないので、自分自身を振り返ってみることはない。	0.51463	マス・メディア 自然 生命		
	3	自分の部屋は、個性的にしたいので、部屋のデザインやインテリアについて書いてある本や雑誌を読む。	0.60755	マス・メディア 自然 生活空間		11	政治的な意見や考えを言うことは、友だちとの関係を気まずくするので、話題にしないようにしている。	0.46085	学校・仲間 自分自身 思想・芸術		
	4	異性の友だちには、顔やスタイルの印象を良くしたいので、容姿や服装に気を配る。	0.58203	学校・仲間 自分自身 身体・容姿		40	サークルや仲間との話し合いでは、まとまりを大切にしたいので、自分だけ違った意見を言うことはつづむ。	0.44974	学校・仲間 人間社会 人間関係		
	13	スポーツ用品や衣服などを買うときは、仲間のものとおまじ見劣りのしないものを買う。	0.52426	学校・仲間 人間社会 物質・商品		(10)	親から、安定した道をすすむように期待されているので、成功するかどうかわからないようなことは選択しないようにしている。	0.38272	家庭・家族 自分自身 生き方・生きがい		
	14	映画やイベントは、話題性が重要なので、早いうちに見に行く。	0.44490	マス・メディア 自分自身 思想芸術		1	親から、人前では角の立つような意見は言わないようにとされているので、他人との対立するような意見はひかえる。	0.36423	家庭・家族 人間社会 人間関係		
	32	テレビや雑誌などで、シャンプーなど日常よく使うものの新製品が宣伝されると、自分に合うものかどうか一度買ってみた。	0.43749	マス・メディア 人間社会 物質・商品		33	運命には逆らえないという小説やドラマをみると、人生は自分の努力だけではどうすることもできないように思えるので、今を楽しく生きる。	0.34678	マス・メディア 自然 超自然		
	(5)	テレビや雑誌などで、海外旅行が話題になっているので、人気のある場所を選んで計画を立ててみる。	0.37277	マス・メディア 自然 生活空間							
	(39)	親に、人から見られても恥しくない身なりをするように行われているので、みっともない服装はしないようにしている。	0.33293	家庭・家族 自分自身 身体・容姿							
	Factor 2 「生き方規定的情報への関心」による行為性の因子	16	自分の運命や将来が気になるので、雑誌や本に載っている古いや運勢欄は関心を持ってみる。	0.73156		マス・メディア 自然 超自然	Factor 5 「人間関係的行為性の親・家族の圧力の受容」による行為性の因子	24	親から、人前での振舞いは非常に大事だと行われているので、礼儀作法には気を配る。	0.76167	家庭・家族 人間社会 人間関係
		30	友だちの間では、血液型や星座などの相性が話題になるので、自分に関係のあるところは調べてみる。	0.71351		学校・仲間 自然 超自然		17	教師やサークルの仲間との関係をうまくやっていくには、年長者への接し方が重要なので、あいさつや礼儀には気を配る。	0.89438	学校・仲間 人間社会 社会規範
		34	最近、離婚の原因として性格の不一致が話題となるので、雑誌や本の性格テストをやってみる。	0.59306		マス・メディア 人間社会 人間関係		(39)	親に、人から見られても恥しくない身なりをするように行われているので、みっともない服装はしないようにしている。	0.32679	家庭・家族 自分自身 身体・容姿
20		異性との交際では、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。	0.42286	マス・メディア 人間社会 人間関係	(25)	自分の家に悪いことがあるといけないうので、お墓参りや葬式では丁寧に祈る。		0.30887	家庭・家族 自然 超自然		
36		自分のすることはなるべくうまくやりたいので、生き方成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。	0.41444	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい	29	将来どこに住むかは、親の住まいと全く関係なしには考えられないので、なるべく近くなるように決める。		0.30530	家庭・家族 自然 生活空間		
Factor 3 「生き方の自己決定を必要とする問題に対する期待の感受」による行為性の因子	12	結婚式は人並みにしたいので、式場や新婚旅行について書いてある雑誌の記事などには目を通す。	0.54407	マス・メディア 自分自身 生き方・生きがい	Factor 6 「先見・先端的知識に対する積極的指向」による行為性の因子	35	これからの生活を豊かにしていくためには、機械や科学技術についての理解が必要なので、テレビや雑誌などで最新の知識を身につける。	0.77654	マス・メディア 人間社会 仕事・技術		
	10	親から、安定した道をすすむように期待されているので、成功するかどうかわからないようなことは選択しないようにしている。	0.52454	家庭・家族 自分自身 生き方・生きがい		38	これからの科学には、バイオテクノロジーなどの生命科学の最新知識が必要なので、テレビの科学番組を見たり雑誌を読んだりする。	0.73502	マス・メディア 自然 生命		
	7	テレビや雑誌などで、結婚は社会的にもつり合いのとれた相手とすると良いといわれているので、レベルの同じ相手とつき合うようにしている。	0.46824	マス・メディア 人間社会 社会規範		22	これからの国際社会で活躍していくためには、語学力が必要なので、テレビ・雑誌・テープなどで語学を学ぶ。	0.34156	マス・メディア 人間社会 仕事・技術		
	26	将来の職業は、親の職業と全く関係なしに決めると不利なので、ある程度関連のあるものにする。	0.43557	家庭・家族 人間社会 仕事・技術							
	18	体のスタイルや体量は、自分自身でコントロールしなければいけないので、雑誌やテレビで紹介される栄養のとり方や美容体操などをやってみる。	0.37886	マス・メディア 自分自身 身体・容姿							
Factor 7 「将来期待から資格・技能取得」による行為性の因子	(11)	政治的な意見や考えを行うことは、友だちとの関係を気まずくするので、話題にしないようにしている。	0.34565	学校・仲間 自分自身 思想・芸術	Factor 8 「親の社会的役割の受容による行為性」の因子	6	親から、趣味や特技はあった方が良くと言われるので、将来役に立ちそうなことをなせるべくやっておくことにしている。	0.56084	家庭・家族 自分自身 思想・芸術		
	(1)	親から、人前では、角の立つような意見は言わないようにと行われているので、他人と対立するような意見はひかえる。	0.33002	家庭・家族 人間社会 人間関係		8	教師や仲間から、将来役に立つ技術や資格はあった方が良く行われているので、免許や資格はなるべく多くとっておくようにしている。	0.43607	学校・仲間 人間社会 仕事・技術		
	(20)	異性との交際では、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。	0.32605	マス・メディア 人間社会 人間関係		5	テレビや雑誌などで、海外旅行が話題になっているので、人気のある場所を選んで計画を立ててみる。	0.41611	マス・メディア 自然 生活空間		
	21	旅行の計画を立てるときは、友だちにすすめられたり、行ったことが話題になりそうな場所を選んで計画する。	0.30224	学校・仲間 自然 生活空間							

* 各因子は、因子負荷量が |0.30000| 以上の項目について解釈を行った。
 ** 項目番号の () は、2つ以上の因子に重複する項目。
 *** 視点は略語で記しているため表1を参照。

Ⅲ-2 日常生活意識に反映される「自己を疎外する行為」への社会的要因の影響

表6, 表7の因子分析の結果に基づいて, 日常生活意識に反映される「自己を疎外する行為」の因子構造に見られる社会的要因の影響を検討する。

両性のデータに見いだされる各因子を比較検討してみると, 両性に共通して見いだされた『「生き方規定的情報への関心」による行為性の因子』, 『「先見・先端的知識に対する積極的指向」による行為性』の因子, 『将来期待からの資格・技術指向』による行為性』の因子は, 現代青年のまさに現代社会的特質を反映した生き方を示す因子とみることができる。女性データにおける, 第2・第3因子の『「人間関係的行為性への親・家族の圧力の受容」による行為性』の因子, 『「自己決定を必要とする問題に対する期待の感受」による行為性』の因子, さらに第2因子に関連し女性データに特徴的な因子としての第6因子『「人間関係的行為性への身近な他者の圧力の受容」による行為性』は, 性に期待される「らしさ」が, 特に女性において親や家族, 仲間などの周囲の者からの圧力を感受しての行為性になっていることを示している。市場的で非生産的な構え⁹⁾となってきた現代社会の中の「現代家族」では, 子どもにある程度の文化的生活を将来にわたって維持させるために, 「結婚」を最終目標とし¹⁰⁾, そのために子どもを将来異性に どれだけ高く売れる状態に保てるかが関心事になる。これは性の「商品化」の傾向¹¹⁾を反映したものとみることができる。

一方, 男性データにおいては, それらの女性に見られた因子の順位が下位になるとともに『「社会・政治的事象への自己抑制」による行為性』因子が第4因子に見いだされ, また男性データに特徴的な因子として第8・第9因子に『「家父長的役割期待」の受容による行為性』の因子, 『「親の対社会的価値の受容性の受容」による行為性』の因子が見いだされる。つまり, 男性の場合, 女性に比べて親からの人間関係的行為性への規制を受けることが少なく, 親の関心事はどのような社会的地位につくかという上昇指向に関することとなる¹²⁾。男性にとっての「商品」価値は, 社会的地位によって左右される現代社会の親・家族の価値指向性を反映しているといえよう。

おわりに

本研究では, 「自分らしさ」を模索している「現代青年」が, 自分らしい主体的な個性を發揮させようと様々な生活領域で行為し取り入れてきているものが, その構造を分析してみると, 現代社会の中でゆがめられてきている「性」への社会的な諸要因からの影響を反映し, E. Frommの指摘する人間の「商品化」に近い, 市場的で非生産的構え¹³⁾の状態になってきていることが示された。このような状況下でわれわれは, 自らの日常生活の中での社会的圧力への“気づき (awareness)”を高め, 自らを疎外することなく, 人間性の回復をめざして歩んでいかなければならないと考える。

本研究は神永の1984年度千葉大学大学院教育学研究科に提出した修士論文¹⁴⁾で得た資料のうち, 「大学生の日常意識に関する調査票」の調査結果を再分析し検討したものである。神永が草稿を作成し, 安香が草稿を検討している。なお, 研究・調査の実施にあたっては, 東洋大学文学部の恩田彰教授, 松本恒之教授, 吉田辰雄教授, 茨城大学の吉田昭久教授, 安達喜美子助教授のご協力, また, 教育心理学研究室でゼミナールを構成した学生諸氏の多大な貢献のあったことを付記して, 深甚の謝意を表したいと思う。

注 (文 献)

- 1) 神永典郎・安香宏「現代青年の生活意識における自己疎外の構造 (Ⅰ) - 「自己を疎外する行為」に関する質問紙の検討 -」『千葉大学教育学部研究紀要』第34巻 (1985), pp. 1-17.
- 2) 田崎淳之介・吉川栄一『疎外感』(大日本図書, 1972), pp. 21.
- 3) A. Schaff (花崎皋平訳)『社会現象としての疎外』(岩波書店, 1984), pp. 99-131.
- 4) E. Fromm (谷口隆之助・早坂泰次郎訳)『人間における自由』(東京創元社, 1972), pp. 85-107.
- 5) D. Riesman (加藤秀俊訳)『孤独な群衆』(みすず書房, 1964).
- 6) 上田吉一『精神的に健康な人間』(川島書店, 1969), pp. 242-255.
- 7) 神永・安香 前掲書1)
- 8) 三宅一郎・中野嘉弘・水野欽司・山本喜一郎『SPSS統計パッケージⅡ解析編』(東洋経済新報社, 1977), pp. 84-116.
- 9) E. Fromm 前掲書4)
- 10) 林るみ子・吉田昭久・吉田絃子「『現代家族』の批判的検討 - 『専業主婦』における『生活』意識の検討をとおして -」『茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術)』第31号 (1982), pp. 93-116.
- 11) E. Fromm 前掲書4)
- 12) 高島真澄・吉田昭久・小熊均・吉田絃子「『現代家族』の批判的検討Ⅲ - 女子大学生の性差別意識形成過程に及ぼす社会的要因の検討をとおして -」『茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術)』第33号 (1984), pp. 49-67.
- 13) E. Fromm 前掲書4)
- 14) 神永典郎「社会的圧力への“気づき”と認知機能との関連 - 知覚的場依存・場独立次元からの検討 -」(千葉大学大学院教育学研究科修士論文, 1984, 未発表).

大学生の図形認知と日常意識に関する調査

調査のお願い

この調査票は、複雑な図形の中から単純な図形を見つけ出していく方法と、日常生活での認識との関連性を研究するためのものです。内容は、〔I〕図形認知の方略に関する調査票、〔II〕大学生の日常意識に関する調査票の2つです。

現在私は、現代青年の意識形成過程における諸要因に関して、「図形認知と社会認知との関連性」についての一連の研究を進めております。今回、皆様に御回答していただくのは、この研究の重要な資料となるものです。つきましては研究の趣旨を御理解いただき、是非御協力下さいますようお願いいたします。

なお、皆様の御回答は、統計的に処理し、研究以外の目的には使用いたしませんので、自分の思った通りに御回答下さい。

千葉大学大学院教育学研究科学校教育専攻
教育心理学分野 神永典郎

※ 次の事項に御記入下さい。

性別 男・女 (○印) 年齢 満 ____ 歳 ____ 学年 ____ 学部 ____ 学科 ____

〔I〕 図形認知の方略に関する調査票 (略称: G E F T)

* 省略

〔II〕 大学生の日常意識に関する調査票

* ① Appendix I - ii, iii * ② は省略

◎ 最後に、集計分析に必要なので、以下の項目についても、当てはまる記号に○印をつけて下さい。

- I 現在両親と, a 同居 b 別居 (下宿など)
- II 家族として祖父母と同居したことが, a ある b ない
- III 現在の住まいにテレビが, a ある b ない
- IV あなたが主として使用している車が, a ある b ない
- V あなたの御両親の出られた最終学校は,
(父親は a に, 母親は b に○印をつけて下さい。)

	父	母		父	母
	⋮	⋮		⋮	⋮
	⋮	⋮		⋮	⋮
(ア) 旧制小学・高等小学・ 新制中学校	a	b	(イ) 旧制中学校・師範・ 実業学校・高等女学校	a	b
(ウ) 新制高校	a	b	(エ) 旧制高等学校・ 旧制専門学校など	b	b
(オ) 新制大学・短大 (医学部は除く)	a	b	(カ) 帝国大学・医専・ 医学部・大学院など	a	b
(キ) その他 a () b ()			(ク) 学校へはっていない。 a b		

多くの項目にご協力いただきましてありがとうございました。以上ですべて終了です。
なお、この調査は、研究のための貴重な資料として、十分に活用させていただきます。

Appendix I - ii 調査票 (その2: 質問票 - i)

〔II〕 大学生の日常意識に関する調査票

□ 次の各項目は、私たちが日常「している」ことや「考えている」ことについてあげたものです。それぞれの項目について、「あなた自身に照し合せてどうであるか」を思いかえし、あなたに最も良くあてはまると思う目盛りの所を、下の例のように○印で囲んで下さい。

この調査は、あなたが正しいとか間違っているとかを調べるものではありませんので、自分の思った通りにお答え下さい。また、質問はとばさず順に回答して下さい。

	あよ	あだ	あど	あま	あか	あほ
	てく	いた	ちら	ては	なり	てん
	は	はい	か	は	は	は
	ま	ま	か	ま	ま	ま
	る	る	とい	ら	ら	ら
			え	な	な	な
			ば	い	い	い
(例) 人に好感を持たれるような話し方やしぐさがしたいので、映画やドラマでやる俳優のしぐさをまねる。.....(例)	6	5	4	3	2	1
		○				
1 親から、人前では角の立つような意見は言わないようにと言われているので、他人と対立するような意見はひかえる。.....①	6	5	4	3	2	1
2 仲間とのつき合いでは、難民の暮らしなどは共通の話題になりにくいので、話題にしないようにしている。.....②	6	5	4	3	2	1
3 自分の部屋は、個性的にしたいので、部屋のデザインやインテリアについて書いてある本や雑誌を読む。.....③	6	5	4	3	2	1
4 異性の友だちには、顔やスタイルの印象を良くしたいので、容姿や服装には気を配る。.....④	6	5	4	3	2	1
5 テレビや雑誌などで、海外旅行が話題になっているので、人気のある場所を選んで計画を立ててみる。.....⑤	6	5	4	3	2	1
6 親から、趣味や特技はあった方が良いと言われてるので、将来役に立ちそうなことをなるべくやっておくことにしている。.....⑥	6	5	4	3	2	1
7 テレビや雑誌などで、結婚は社会的にもつり合いのとれた相手とすると良いといわれているので、レベルの同じ相手とつき合うようにしている。.....⑦	6	5	4	3	2	1
8 教師や仲間から、将来役に立つ技術や資格はあった方が良いと言われてるので、免許や資格はなるべく多くとっておくようにしている。.....⑧	6	5	4	3	2	1
9 ニュースなどで、かなりの地域に飢えている人がいることを知っているが、どうすることもできないので、自分自身を振り返ってみることはない。.....⑨	6	5	4	3	2	1
10 親から、安定した道をすすむように期待されているので、成功するかどうかかわからないようなことは選択しないようにしている。.....⑩	6	5	4	3	2	1
11 政治的な意見や考えを言うことは、友だちとの関係を気まずくするので、話題にしないようにしている。.....⑪	6	5	4	3	2	1
12 結婚式は人並みにしたいので、式場や新婚旅行について書いてある雑誌の記事などには目を通す。.....⑫	6	5	4	3	2	1
13 スポーツ用品や衣服などを買うときは、仲間のものとあまり見劣りのしないものを買う。.....⑬	6	5	4	3	2	1
14 映画やイベントは、話題性が重要なので、早いうちに見に行く。.....⑭	6	5	4	3	2	1
15 人と会うときは、自分の印象を悪くしたくないので、髪型や服装について書いてある本や雑誌を読む。.....⑮	6	5	4	3	2	1
16 自分の運命や将来が気になるので、雑誌や本に載っている占いや運勢欄は関心を持ってみる。.....⑯	6	5	4	3	2	1
17 教師やサークルの仲間との関心をうまくやっていくには、年長者への接し方が重要なので、あいさつや礼儀には気を配る。.....⑰	6	5	4	3	2	1
18 体のスタイルや体重は、自分自身でコントロールしなければならないので、雑誌やテレビで紹介される栄養のとり方や美容体操などをやってみる。.....⑱	6	5	4	3	2	1

Appendix I - iii 調査票 (その3 : 質問票 - ii)

	あよ てく は ま る	あ だ い た い は ま る	あ ど ち ら か と い え ば ま る	あ ま り は ま ら な い	あ ま り は ま ら な い	あ ほ と ん ど は ま ら な い
19 仲間と将来の人生設計について話すときは、個人の考え方を大切にしたいので、お互いに相手の考え方には干渉し合わないことにしている。.....⑲	6	5	4	3	2	1
20 異性との交際では、相手の気持ちをより大切にしたいので、男女のつき合い方について書いてある本や雑誌を読む。.....⑳	6	5	4	3	2	1
21 旅行の計画を立てるときは、友だちにすすめられたり、行ったことが話題になりそうな場所を選んで計画する。.....㉑	6	5	4	3	2	1
22 これからの国際社会で活躍していくためには、語学力が必要なので、テレビ・雑誌・テープなどで語学を学ぶ。.....㉒	6	5	4	3	2	1
23 生命や財産は、自分自身で守っていかなければならないので、家族については特に自分たちで気を配る。.....㉓	6	5	4	3	2	1
24 親から、人前での振舞い方は非常に大事だと言われているので、礼儀作法には気を配る。.....㉔	6	5	4	3	2	1
25 自分の家に悪いことがあるといけないので、お墓参りや葬式では丁寧に祈る。.....㉕	6	5	4	3	2	1
26 将来の職業は、親の職業と全く関係なしに決めると不利なので、ある程度関連のあるものにする。.....㉖	6	5	4	3	2	1
27 衣服や持ち物などを買うときは、よい品物を買いたいので、テレビや雑誌で紹介された新製品やブランド品を選ぶようにしている。.....㉗	6	5	4	3	2	1
28 人前では恥をかきたくないなので、服装やテーブルマナーについて書いてある雑誌や本を読む。.....㉘	6	5	4	3	2	1
29 将来どこに住むかは、親の住まいと全く関係なしには考えられないので、なるべく近くなるように決める。.....㉙	6	5	4	3	2	1
30 友だちの間では、血液型や星座などの相性が話題になるので、自分に関係のあるところは調べてみる。.....㉚	6	5	4	3	2	1
31 親から、みっともないものは買わないようにと言われているので、世間体の悪い商品は買わない。.....㉛	6	5	4	3	2	1
32 テレビや雑誌などで、シャンプーなど日常よく使うものの新製品が宣伝されると、自分に合うものかどうか一度買ってためしてみる。.....㉜	6	5	4	3	2	1
33 運命には逆らえないという小説やドラマをみると、人生は自分の努力だけではどうすることもできないように思えるので、今を楽しく生きる。.....㉝	6	5	4	3	2	1
34 最近、離婚の原因として性格の不一致が話題となるので、雑誌や本の性格テストをやってみる。.....㉞	6	5	4	3	2	1
35 これからの生活を豊かにしていくためには、機械や科学技術についての理解が必要なので、テレビや雑誌などで最新の知識を身につける。.....㉟	6	5	4	3	2	1
36 自分のすることはなるべくうまくやりたいので、生き方や成功するための方法について書いてある本や雑誌を読む。.....㊱	6	5	4	3	2	1
37 国の政治や国際関係についての報道に接しても、日常生活にかかわりが薄いので、自分の意見を人に言うことはない。.....㊲	6	5	4	3	2	1
38 これからの科学には、バイオテクノロジーなどの生命科学の最新知識が必要なので、テレビの科学番組を見たり雑誌を読んだりする。.....㊳	6	5	4	3	2	1
39 親に、人から見られても恥しくない身なりをするように言われているので、みっともない服装はしないようにしている。.....㊴	6	5	4	3	2	1
40 サークルや仲間との話し合いでは、まとまりを大切にしたいので、自分だけ違った意見を言うことはつつしむ。.....㊵	6	5	4	3	2	1

現代青年の生活意識における自己疎外の構造 (II)

Appendix II 女性データの回転後の因子負荷量行列

項目No.	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	FACTOR 4	FACTOR 5	FACTOR 6	FACTOR 7	FACTOR 8	FACTOR 9
Q 1	0.13432	0.26568	0.27645	0.01117	0.06483	0.27682	0.19559	0.22139	0.07822
Q 2	0.08437	-0.05045	0.10533	0.09016	-0.07495	0.53868	-0.05290	0.20472	0.04303
Q 3	0.58683	0.05433	-0.07274	0.11832	0.08593	0.02148	0.04963	0.01362	-0.02078
Q 4	0.52776	0.16475	0.13373	0.09424	0.01211	-0.02668	0.14808	0.20620	-0.04073
Q 5	0.52384	-0.02090	0.08419	0.04989	0.05592	0.02755	0.24737	-0.07848	0.20131
Q 6	0.24613	0.20540	0.11283	0.11026	0.05695	0.02812	0.71729	0.01937	0.05252
Q 7	0.21002	0.17472	0.46105	-0.00163	0.08326	0.21096	0.26648	0.05954	0.07319
Q 8	0.18925	0.19484	0.21527	0.07070	0.12986	-0.02851	0.56057	0.14262	-0.06901
Q 9	0.07708	-0.23425	0.01449	0.09027	-0.14987	0.19018	-0.02856	0.51388	0.03813
Q10	0.10077	0.06225	0.46149	0.06115	-0.00671	0.15753	0.10385	0.30251	-0.05710
Q11	0.11818	0.00568	0.13686	0.03258	-0.03538	0.72181	0.03139	0.19021	-0.02285
Q12	0.44513	0.06212	0.28785	0.08825	0.04902	0.20830	0.15278	0.03528	-0.01450
Q13	0.50054	0.08601	0.26134	0.09419	0.00566	0.07254	0.16490	0.18012	0.07230
Q14	0.47982	0.00880	0.09709	0.13557	0.16812	0.07162	0.06998	0.01846	0.36569
Q15	0.74461	0.08929	0.06181	0.11584	-0.00221	0.04342	0.13967	0.08841	-0.04607
Q16	0.19417	0.18335	0.07752	0.65016	-0.04751	0.04836	0.07055	0.01927	0.12498
Q17	0.12402	0.61734	-0.04206	0.12235	0.04197	-0.00852	0.09826	0.05494	0.01967
Q18	0.53528	0.26742	-0.01984	0.14316	0.04308	0.12898	-0.06584	-0.12145	0.02027
Q19	-0.01774	0.11795	0.05632	0.02496	0.08360	0.17438	0.04125	0.30764	-0.08756
Q20	0.52325	0.11869	0.12643	0.29510	0.07613	0.18658	0.05332	0.05725	-0.35258
Q21	0.40473	0.05126	0.31603	0.23179	-0.03678	0.01602	0.11032	0.09133	0.01298
Q22	0.25355	0.16243	0.02028	-0.00636	0.27689	-0.01481	0.22396	-0.14947	0.11466
Q23	0.04612	0.43639	0.29513	0.13420	0.09849	-0.01947	0.16807	-0.06941	-0.06163
Q24	0.17898	0.75203	0.17336	-0.00368	0.13461	-0.04147	0.07466	0.00434	-0.01199
Q25	0.08414	0.43956	0.23274	0.20326	0.04764	0.03755	0.08147	-0.04811	0.03473
Q26	0.12138	0.00950	0.44990	0.00686	0.20695	0.19483	0.04756	-0.08174	0.04699
Q27	0.59818	0.03201	0.31362	0.03312	0.07909	-0.05296	-0.03941	0.10574	0.19592
Q28	0.50987	0.37331	0.12900	0.16909	0.10923	0.07358	-0.00538	0.02700	-0.08128
Q29	0.03058	0.13798	0.55586	0.11367	-0.00482	-0.01532	-0.02381	0.03462	-0.07515
Q30	0.20890	0.13739	0.10934	0.76945	0.03193	0.02465	0.05890	0.12509	0.01353
Q31	0.18576	0.26863	0.47302	0.13903	0.01750	0.04435	0.14514	0.24140	0.15426
Q32	0.35685	0.10099	-0.00637	0.24222	0.12953	0.07912	0.06020	-0.00186	0.29416
Q33	0.16908	0.02215	0.07176	0.33553	0.08758	0.07185	-0.04699	0.28841	0.21358
Q34	0.35265	0.09290	0.11121	0.56289	0.08581	0.08105	0.08251	0.08544	-0.17219
Q35	0.17713	0.10296	0.04398	0.11804	0.81196	0.00021	0.04923	0.06189	0.03306
Q36	0.38976	0.09874	0.13190	0.33891	0.31029	0.15863	0.05174	0.02321	-0.17640
Q37	-0.02958	-0.11372	0.02558	0.20982	-0.29502	0.28387	0.02509	0.34367	-0.02680
Q38	0.03407	0.07232	0.09260	-0.00261	0.72104	-0.08449	0.07256	-0.04658	0.01847
Q39	0.18737	0.41828	0.34145	0.05455	-0.02491	-0.00951	0.17960	0.31143	0.04472
Q40	0.11349	0.18625	0.25859	0.06085	-0.00075	0.18456	0.11071	0.37813	0.06624

Appendix III 男性データの回転後の因子負荷量行列

項目№	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	FACTOR 4	FACTOR 5	FACTOR 6	FACTOR 7	FACTOR 8	FACTOR 9
Q 1	-0.00266	0.09364	0.33002	0.36423	0.26814	0.08724	0.11718	-0.12330	0.19917
Q 2	0.07660	0.04919	0.05981	0.52410	0.02168	-0.05915	0.17241	0.03412	0.09004
Q 3	0.60755	0.06148	0.11667	0.03045	-0.05417	0.17201	0.00297	0.02416	-0.06361
Q 4	0.58203	0.14826	-0.02588	0.05505	0.16384	-0.05308	0.12220	0.08517	0.15547
Q 5	0.37277	0.20355	0.23581	0.06992	-0.04718	0.04141	0.41611	-0.04691	-0.05701
Q 6	0.16313	0.10901	0.23422	0.02675	0.18328	0.12458	0.56084	0.14930	0.17022
Q 7	0.10475	0.15796	0.46824	0.11847	0.15250	0.11218	0.19791	0.04921	0.12208
Q 8	0.12149	0.05302	0.22523	0.01065	0.25305	0.09487	0.43607	0.11122	-0.04776
Q 9	0.20374	0.06444	-0.10353	0.51463	-0.07268	-0.20239	0.08646	-0.05155	-0.15387
Q10	0.07815	-0.09028	0.52454	0.38272	0.14532	0.00444	0.05488	0.06682	0.05318
Q11	0.02642	-0.05506	0.34565	0.46085	0.11610	0.17979	-0.01457	0.02612	0.06913
Q12	0.28392	0.18529	0.54407	0.11589	-0.01712	0.05889	0.11740	0.02660	0.14812
Q13	0.52426	0.07316	0.06194	0.14655	0.09102	-0.01990	0.17895	0.05933	0.16889
Q14	0.44490	0.14366	0.06107	0.17652	-0.10843	0.13985	0.24658	0.12860	0.07115
Q15	0.75180	0.06603	0.21453	0.11710	0.10997	0.07348	0.06873	-0.07417	0.06698
Q16	0.12008	0.73156	0.05004	0.16471	0.12817	0.01546	0.11081	0.07922	-0.06774
Q17	0.02686	0.11800	0.06268	-0.00162	0.69498	0.09072	0.03443	0.10328	0.06107
Q18	0.26086	0.13735	0.37886	0.05025	-0.02468	0.27039	0.05436	0.14167	-0.04108
Q19	-0.00844	0.02963	-0.01054	0.20991	0.02428	0.08982	0.04788	0.03707	-0.00385
Q20	0.26010	0.42266	0.32605	0.03652	0.02533	0.14289	0.14109	0.11119	0.12288
Q21	0.26350	0.23640	0.30224	0.20538	0.13660	-0.06826	0.25048	0.11217	0.05730
Q22	0.20549	0.06724	0.12664	-0.12743	-0.01466	0.34156	0.03590	-0.03380	0.06052
Q23	0.09164	0.05366	0.09235	-0.02412	0.17729	-0.05081	0.11491	0.68468	0.03161
Q24	0.16787	0.04739	0.04727	0.14468	0.76167	0.05168	0.13781	0.16269	0.12226
Q25	0.14288	0.21719	0.15525	0.06135	0.30887	-0.00500	0.03817	0.47864	0.16878
Q26	0.20875	0.11704	0.43557	0.07667	0.00142	0.01829	0.16827	0.07960	-0.02696
Q27	0.62697	0.15214	0.23054	0.01670	0.16625	-0.01502	0.05299	0.00329	0.00414
Q28	0.62404	0.21093	0.26695	0.04230	0.08148	0.28550	-0.11276	0.09023	-0.02694
Q29	0.16947	0.10703	0.29044	0.08375	0.30530	-0.08296	0.11737	0.23555	0.05438
Q30	0.15692	0.71351	0.02568	0.10297	0.18386	0.05259	-0.00524	-0.01729	-0.02046
Q31	0.25222	0.10549	0.29734	0.11457	0.22155	-0.01009	0.01394	0.08216	0.47818
Q32	0.43749	0.24296	0.10018	0.03480	-0.01230	0.12680	0.16816	0.00743	0.18682
Q33	0.25003	0.23212	0.07859	0.34678	0.00035	0.04522	0.21760	0.04687	0.15865
Q34	0.19754	0.59306	0.22497	0.01851	-0.07072	0.10371	0.11483	0.07862	0.18149
Q35	0.13675	0.10011	-0.00159	0.02360	0.12931	0.77654	0.08132	-0.00585	-0.03281
Q36	0.24282	0.41444	0.16887	0.00607	0.00607	0.26198	0.03614	0.10418	0.04260
Q37	0.03036	0.08366	0.09446	0.57514	0.01961	-0.09831	-0.09305	-0.02930	0.01900
Q38	-0.03436	0.05628	0.05382	-0.13048	0.02618	0.73502	0.04372	-0.05389	0.05664
Q39	0.33293	-0.02991	0.05774	0.24060	0.32679	0.15546	0.12754	0.17454	0.53118
Q40	0.02726	0.09500	0.19252	0.44974	0.10836	-0.02553	0.00476	0.08203	0.10460